



流山市議会議員

もりた洋一

議会レポート No 11

メール: moritayoichi2007@yahoo.co.jp



YOICHI MORITA

(発行)
森田事務所
804-7189-8277
FAX04-7189-8278

私の3大スローガン

- ① 「私は貰っていません」
(1) 議員報酬の中から20%を、将来発展途上国支援など国際貢献に拠出するため、別口座にプールしています。
(2) 個人に支給される政務調査費は一切受け取らず、議員活動の費用は全て自己負担で行っています。
- ② 「もっと改革を」
- ③ 「クリーンで元気な流山の創造」

今12月議会では、流山市総合計画後期基本計画(今後10年の計画)が審議されました。この計画のポイントと審議結果は、下記のとおりです。

「流山市総合計画後期基本計画」とは、流山市総合計画に基づいて、平成22年から平成31年の人口規模や財政見通しを考慮して主要事業を定めた計画のことです。

そこに、6つの施策体系より870の個別事業が計画としてあげられ、上期・中期・下期のどの段階でどれくらいの予算が必要かが明記されています。

この計画の大枠については、タウンミーティング、パブリックコメントにより市民からの意見を募集して、計画に反映するかどうか検討されました。議会内では、協議会方式で研究が行われ、今議会の特別委員会でも審議されたうえ決議されました。

主要な点は、以下のとおりです。

- ◇背景に3つ(長寿・人口減少社会、地球温暖化、地方分権)の潮流。
- ◇約870の事業が各分野であげられている。(一般会計で約3842億円規模)
- ◇市債残高は、平成21年度727億円見込みのものが、平成31年度には約651億円と減少。
- ◇将来人口は、18万人をピークに減少傾向となり、高齢化が進む。
- ◇平成28年頃、西平井・鱈ヶ崎区画整理事業が終了する。
- ◇つくばエクスプレス駅周辺に人口増が見込まれる。
- ◇公共下水道普及率(平成20年69.5%)は、平成31年88.5%をめざす。
- ◇イベントや観光などで、市外からの来訪者を増やす。
- ◇マーケティング戦略で、住民や企業を誘致する。

各論部分では、待機児童ゼロ、国際姉妹都市、生物多様性、産業振興など、これまでに一般質問で扱った項目も反映されていました。

もりた洋一が平成21年に取り組んだ地域案件

- ①東谷調整池の地元と市当局の調整
- ②流山幼稚園廃園問題
- ③加・流山地域県道の整備
- ④流山地域の市道整備
- ⑤旧県道の振動対策
- ⑥鱈ヶ崎の私道整備要綱認定
- ⑦南流山歩道橋は次回修繕より県・市の主導に調整
- ⑧西初石信号右折レーン設置
- ⑨中央図書館7月末日特別開館
- ⑩松が丘「ふるとの森」前ドブ板修繕
- ⑪三輪野山公園整備
- ⑫福祉会館のサービス向上推進や修繕計画の整理

もりた洋一が平成22年に取り組みたいこと

- ①引き続き、各地域案件の解決(特にまだ未解決の案件)
- ②農業政策充実に向けた提言
- ③観光施設の充実
- ④子育てしやすい環境の整備
- ⑤自然保護 など